

枚方市 子どもに本を届ける 事業

本との出会いが、子どもたちの夢や未来への希望を育みます

令和8年（2026年） 枚方市立中央図書館

子どもに本を届ける事業とは？

- 枚方市では、子どもたちがたくさんの本と出会うことができるよう、「枚方市子どもに本を届ける基金」を創設しています。
- お寄せいただいたふるさと寄付金など市民からの寄付金を募るとともに、ご家庭で読まなくなった本をご寄贈いただき、その中で図書館の蔵書としない本を売却し、基金に積み立てます。
- 毎年、基金の一部を利用して本を購入し、学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に届けています。
- その活用について、主に令和7年度（2025年度）の実績をもとに、ご紹介します。

① 学校への団体貸出図書配本事業

子どもの読書活動を推進するため、希望する枚方市立小学校に、読書活動用図書を1校につき210冊（低・中・高学年用各70冊）、約9ヶ月間貸出しています。

令和7年度は、子どもに本を届ける基金を活用して新たに図書614冊を購入し、小学校34校に、中央図書館と学校図書館を結ぶ配送便で届けました。



② 調べ学習等団体貸出



枚方市立小中学校を対象に、学校の教育活動（調べ学習や並行読書等の授業および児童生徒の委員会活動等）のために、テーマに沿った図書館資料が利用できる団体貸出制度です。学年・教科ごとに上限50冊、4週間借りることができます。

令和7年度は、子どもに本を届ける基金を活用して新たに325冊、調べ学習等に役立つ本を購入して、利用に供しました。

第14回「中学生の調べ学習コンクール」 令和7年11月～12月実施

中央図書館では、中学生を対象に、日頃、疑問に思ったこと、興味があることなどについて、学校図書館や市立図書館の本を使って調べてわかったことをまとめた作品を募集、展示して、優秀作品を表彰するコンクールを毎年、開催しています。



③ 子育て支援施設に届ける



自動車文庫カワセミ号は、2週間に1回、子育て支援施設（ファミリーポートひらかた、すこやか広場・きょうぶん）に行って貸出しています。

令和7年度、子どもに本を届ける基金を活用して、赤ちゃん向けの絵本を47冊購入して届けました。

④ えほんのひろば用図書



「えほんのひろば」は、段ボール製面展台を使って絵本や写真集の表紙を見せて展示することで、子どもたちが本に親しむきっかけにつなげる催しです。

中央図書館では、「えほんのひろば」専用図書セットを、学校や保育所（園）等で開催される「えほんのひろば」に1回につき300冊、貸出しています。

令和7年度は、子どもに本を届ける基金を活用して、新たに103冊を購入しました。

⑤ 留守家庭児童会室への読書活動用団体貸出



令和7年度、子どもの読書活動を推進するため、中央図書館と学校図書館を結ぶ配送便を活用して、4か所の留守家庭児童会室に、読み物を中心とした50冊を配本しました。

子どもに本を届ける基金を活用して留守家庭児童会室の配本用に45冊を購入しました。

⑥ 電子書籍（児童書） 「読み放題パック」

読み放題の子ども電子書籍は、何人でも、同時に、すぐ読むことができます。



令和7年度は、子どもに届ける基金を活用して、「読み放題パック」のコンテンツを新たに614点追加しました。

令和7年度

子どもに本を届ける基金を活用して購入した 児童図書

単位:冊

市立図書館蔵書	1,134
電子書籍	614
合計	1,748

ありがとう
ございました

